

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-76585(P2003-76585A)
【公開日】平成15年3月14日(2003.3.14)
【出願番号】特願2002-211448(P2002-211448)
【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 11/36

G 0 6 F 11/28

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 R

G 0 6 F 11/28 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

信頼できるコンピューティング・プラットフォーム(TCP)のための信頼できる環境エージェントであって、完全性調査手段と出力手段を備えており、完全性調査手段は少なくとも1つのターゲット・コンピューティング・プラットフォーム上で動作して完全性調査を実行でき、出力手段は完全性調査の結果をユーザーに通知できるエージェント。

【請求項2】

請求項1に記載の信頼できる環境エージェントであって、ターゲット・プラットフォームに対して準備する完全性調査の種類に関する情報をユーザーから受け取ることができる入力手段を備えているエージェント。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の信頼できる環境エージェントであって、入力手段によってユーザーがユーザーの要望をポリシーの形で入力でき、信頼できる環境エージェントがユーザーの要望を判断できるエージェント。

【請求項4】

請求項1から3のいずれかに記載の信頼できる環境エージェントであって、ターゲット・コンピューティング・プラットフォームとユーザーの間で助言の手段として動作できるエージェント。

【請求項5】

請求項1から4のいずれかに記載の信頼できる環境エージェントであって、ユーザーのTCPやターゲット・コンピューティング・プラットフォームから離れたサーバーにインストールするように構成されるエージェント。

【請求項6】

信頼できるコンピューティング・プラットフォーム(TCP)を評価する方法であって、TCPのユーザーが信頼できる環境エージェントを備える少なくとも1つのターゲット・プラットフォームに接続することと、続いて前記信頼できる環境エージェントがユーザーの指示に基づいて完全性調査手段によって少なくとも1つのターゲット・プラットフォームの少なくとも1つの完全性調査を実行することと、続いて信頼できる環境エージェントが完全性検査の結果を返し、ユーザーが利用できるようにすることを含む方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の方法であって、信頼できる環境エージェントが、まずユーザーのローカル・プラットフォームを検査してからリモート・プラットフォームを検査する方法。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 のいずれかに記載の方法を実行できるコンピュータ・プログラムを保持する記録可能媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

6. 信頼できるコンピューティング・プラットフォーム (TCP) (14、18) を評価する方法であって、TCP (14) のユーザー (10) が信頼できる環境エージェント (22) を備える少なくとも 1 つの (14、18) ターゲット・プラットフォームに接続することと、続いて前記信頼できる環境エージェント (22) がユーザー (10) の指示に基づいて完全性調査手段 (22) によって少なくとも 1 つのターゲット・プラットフォーム (14、18) の少なくとも 1 つの完全性調査を実行することと、続いて信頼できる環境エージェント (22) が完全性検査の結果を返し、ユーザー (10) が利用できるようにすることを含む方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

7. 上記 6 に記載の方法であって、信頼できる環境エージェント (22) が、まずユーザーのローカル・プラットフォーム (14) を検査してからリモート・プラットフォーム (18) を検査する方法。